

「ワーキンググループ」制度の導入で社員同士のスキルが向上

ネットワーク／セキュリティシステムの提供は、設計・構築を担当する技術者の様々なスキルの提供を意味する。中でも一番の価値であるヒューマンスキルを徹底的に育成し、同時に組織に対する帰属意識の向上を目標に掲げているのが、アンリミテッドだ。小林純社長は次のように話す。

「2003年の設立から5年間は、私のノウハウを直接指導し、次の5年は各社員が蓄積したノウハウをベースに、マネジメントをしながらそれまで学んだ知識を社内外に反映していく。設立10周年を迎える頃には、現在いる社員から社長を誕生させたい」

数ある経営手法の中で、独自のカラーを出しているのが、自社考案のWG（ワーキンググループ）制度の導入である。

ITの最新技術を追求する以上に、普遍的なヒューマンスキルの育成方法を会社全体で創造し、WG制度の場で社員がお互いのスキルを共有し向上させている。

「WG制度は、担当業務とは別に活動する。全社員を対象にした自主参加型形式なので、自主性を育み所属部署の枠を超えた上下の隔たりのない交流を深め、帰属意識の向上にも直結する」と小林社長は話す。

伸びる企業には理由がある

アンリミテッド

「集」を大切にすることで「個」がより大切になる

社員同士で相談する場が、実は悩みを打ち明けるメンタルケアの場にもなり、結果的に退職率を低下させている。またWGで得たノウハウは、「情報セキュリティ教育」という新事業立ち上げを実現させている。

これは、社員からの「eラーニングで勉強した内容は簡単に忘れてしまう」という言葉がヒントになったという。

セキュリティ意識の低さが、情報漏洩の根本的な原因と捉える同社。直接指導により実感をわかせる。同社の現役セキュリティエンジニアが中小企業の現場に向き、意識の向上を図るサービスタだ。

「自ら考え、自ら行動する。「集」を大切にすることで「個」がクローズアップされ、「個」がより大切になる」と小林社長はマネジメント手法のポリシーを話す。

「伸ばす」手法によって人材は「アンリミテッド」という社名通り、無限に伸びていくと同社は考えている。



小林 純 社長

◇住所＝東京都中央区
京橋2-8-8 新京橋ビル2F
(03-5524-7441)
◇資本金＝3000万円
◇ホームページ＝
<http://www.unltd.co.jp>